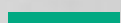




**Hewlett Packard
Enterprise**

HPE ProLiant サーバーが 提供するお客様メリット



日本ヒューレット・パッカード合同会社

2023年6月



コンテンツ

1. はじめに
2. HPE ProLiantサーバーが提供するお客様メリット
 - a) お客様の運用工数削減に貢献
 - b) 安心・安全を提供
HPE Integrated Lights-Out (iLO)
3. HPE ProLiantサーバーの実績
4. HPE ProLiantサーバーのポートフォリオ
5. まとめ



1. はじめに

お客様・市場背景



はじめに

背景

情報化の推進がビジネスの競争力に直結する今日、クラウドからエッジまで、あらゆる場所でデータが生成され、その容量の肥大化はとどまることを知りません。それに伴いITの**管理も複雑化**してきています。

一方、システムに対する脅威は多様化しており、**セキュリティ被害**に関しては増加の一途をたどっています。

このような状況に対応していくにはどのようなシステムが求められるのでしょうか？



これからのサーバーに求められること

1. お客様(ユーザー様)がラクになること:

管理機能向上

2. 安心・安全であること: セキュリティ強化



2. HPE ProLiantサーバーが提供するお客様メリット

a) お客様の運用工数削減に貢献

管理機能向上

b) 安心・安全を提供

セキュリティ強化

HPE Integrated Lights-Out (iLO)

管理機能向上

セキュリティ強化



a) お客様の運用工数削減に貢献

管理機能向上



直感的なクラウド型の運用管理

「管理のための管理」からの解放

HPE GreenLake for Compute Ops Management

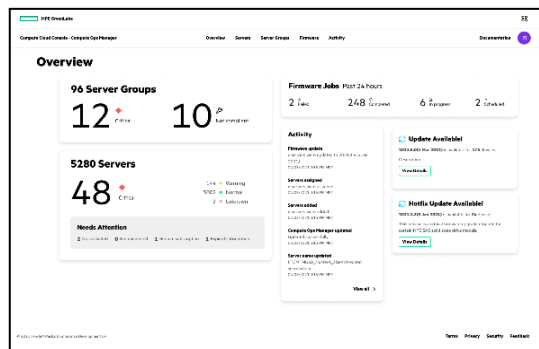
シンプル

分散されたサーバーを、
どこからでも管理が可能

ファームウェアのアップデートを**5**倍迅速化¹

数千台規模の分散されたサーバーでも
簡単に登録・管理ができる

New Gen11サーバーに最適化

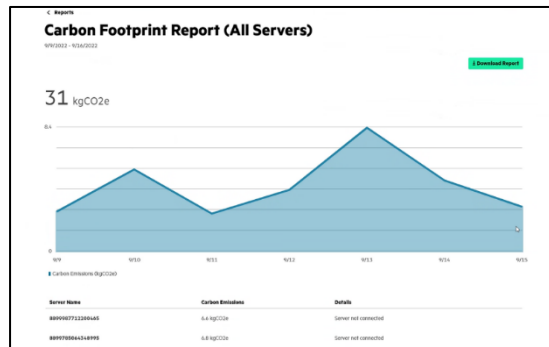


一元化

単一コンソールからの
お客様自身による管理

トップページで全てのサーバーの
ヘルス/ファームウェア状態を確認

New カーボンフットプリントレポート
により、個々のサーバーおよび
環境全体のCO2排出量を把握

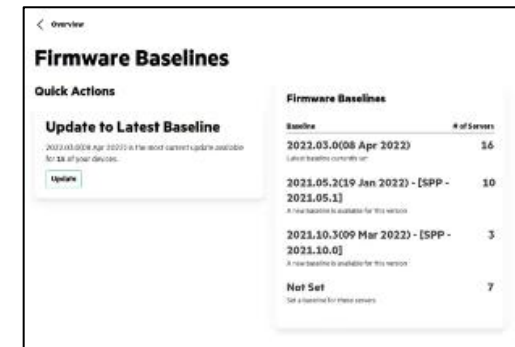


自動化

- 手作業を削減
- 自動化による業務効率向上

REST APIにより、
更新作業をさらに速く・簡単に

New 障害の自動通報

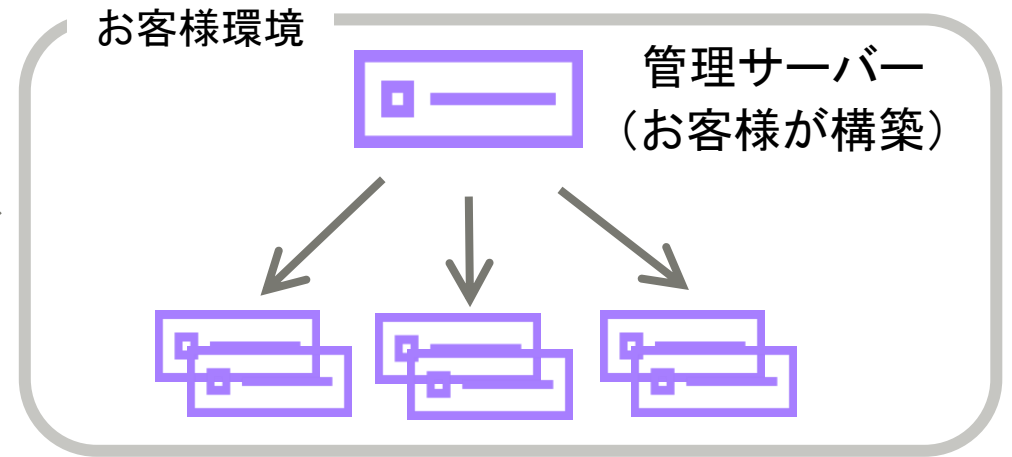
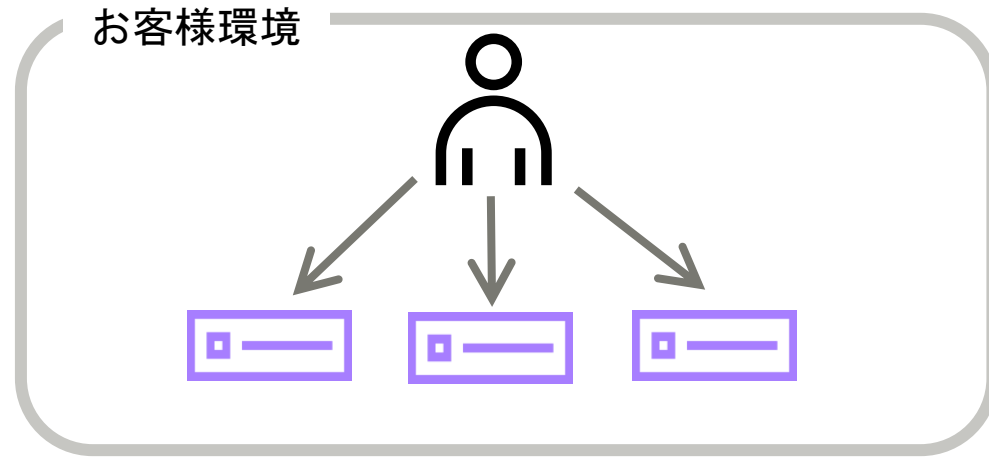


HPE GreenLake for Compute Ops Management の特長

管理サーバー不要、クラウドからサーバー管理機能を提供

一昔前

従来のサーバー管理



サーバーを一台ずつ現場で
手作業で管理するため、
人員と工数が必要

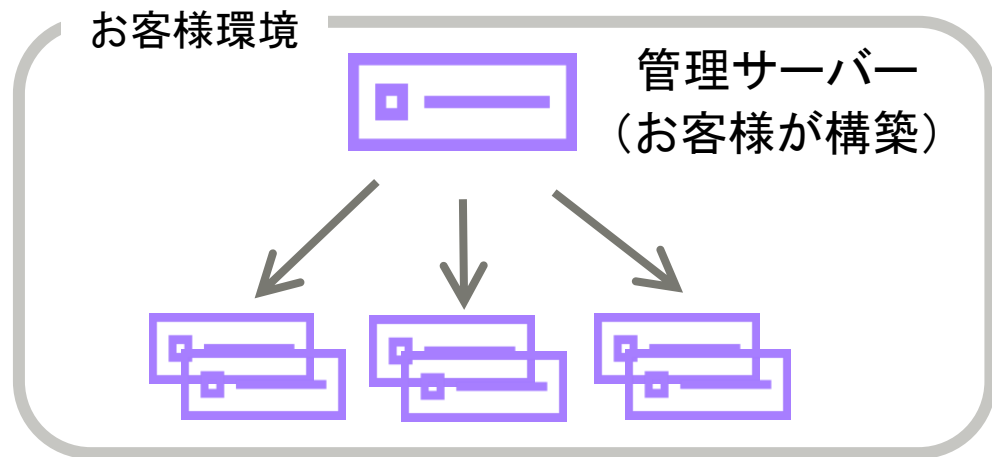
管理サーバーを導入することで
まとめて管理が可能に

複数のサーバーを、管理サーバーでまとめて管理が可能にはなったものの
まだまだ効率的とはいえない

HPE GreenLake for Compute Ops Management の特長

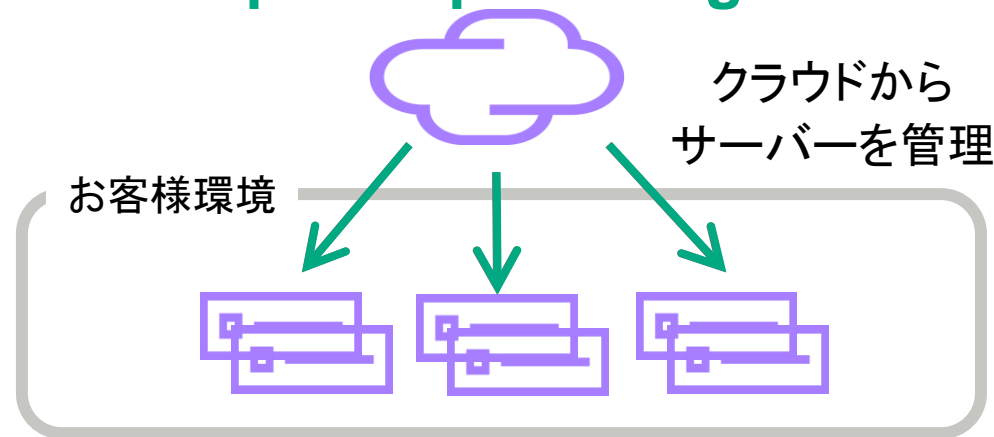
管理サーバー不要、クラウドからサーバー管理機能を提供

従来のサーバー管理



管理サーバー自身の管理が
ますます煩雑に

HPE GreenLake for Compute Ops Management



管理サーバーは不要、
クラウドから簡単にサーバー管理
新サービス・新機能が即時に実装可能

管理サーバーの導入コスト・運用コストを削減
専任エンジニアがいなくても簡単に管理ができるサーバー管理環境を提供

b) 安心・安全を提供

セキュリティ強化



今、求められているセキュリティ・バイ・デザイン

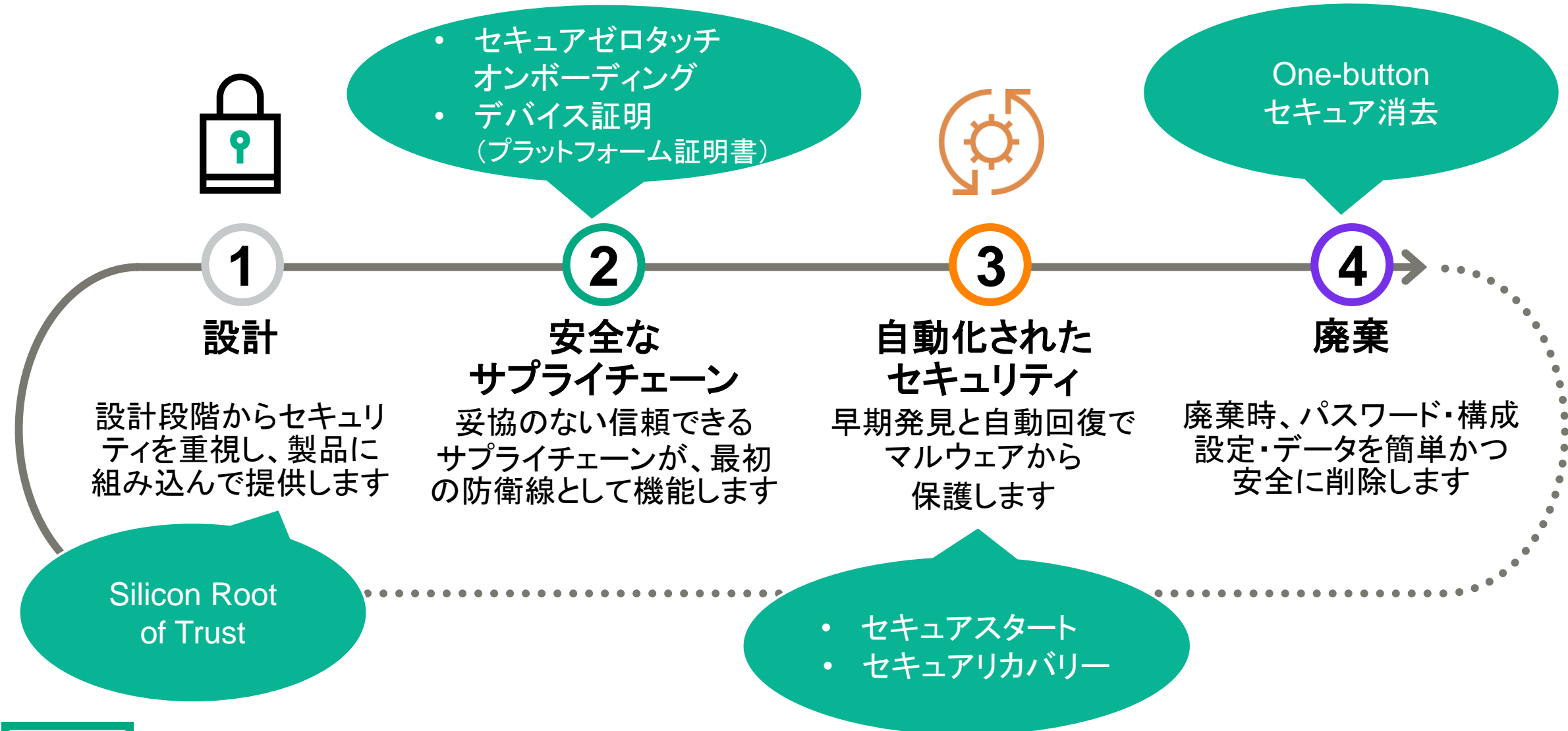
セキュリティ・バイ・デザインとは？

「サイバーセキュリティを業務、製品・サービス等のシステムの企画・設計段階から確保すること」

- ① 企画・設計
- ② 製造・流通（サプライチェーン）
- ③ 構築・運用
- ④ 廃棄

HPEではこれら4つのステージを一貫して捉え、最先端のセキュリティ技術を組み込んでいます。

各ステージにおけるセキュリティ機能



Gen11でさらに進化した、安心のセキュリティ・バイ・デザイン

<HPE ProLiant Gen11>

- ・ オプションコンポーネントも HPE Silicon Root of Trust対応(業界規格のSPDMによりRAID、NICに拡大予定)
- ・ TPM 2.0 標準実装(マザーボード固定)
- ・ デバイス証明(プラットフォーム証明書)、セキュア ゼロタッチオンボーディングを標準実装
- ・ トラステッド・サプライチェーン対応(工場設定オプション)

<HPE ProLiant Gen10 Plus>

- ・ デバイス証明(プラットフォーム証明書を使用したデバイス証明)
- ・ セキュア ゼロタッチオンボーディング(ネット/802.1X経由でHPEのサーバーかを認証機能)

<HPE ProLiant Gen10>

- ・ Silicon root of trust/世界標準の安心

HPE Integrated Lights-Out (iLO)

管理機能向上

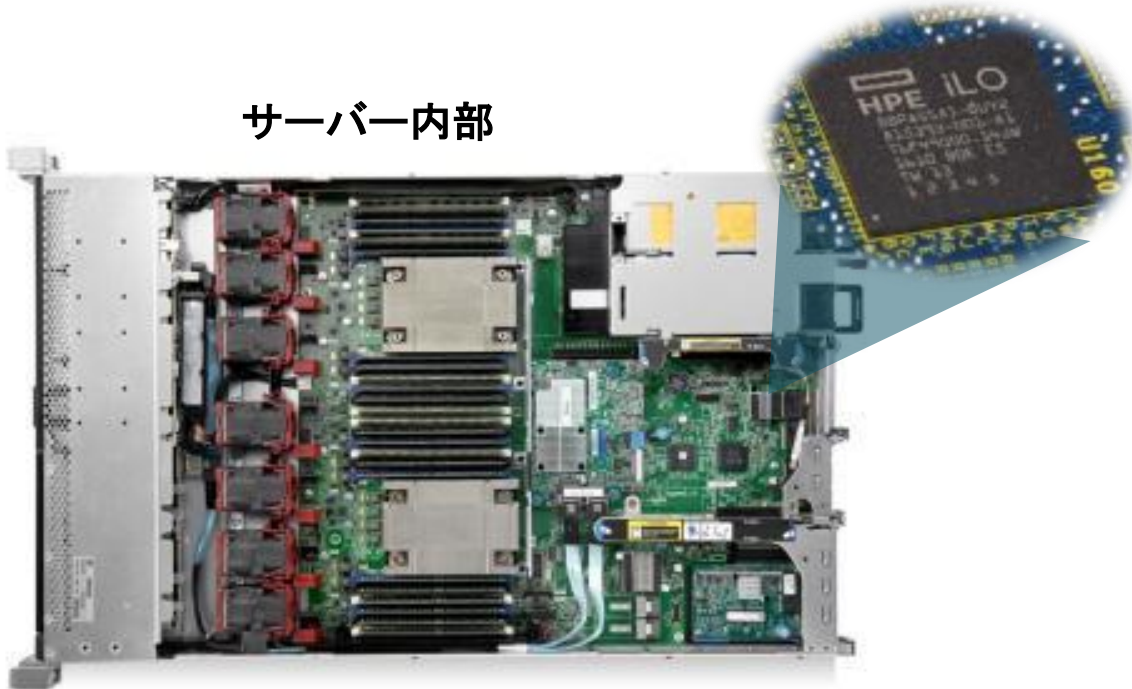
セキュリティ強化

お客様メリットを提供するHPE自社開発チップ



iLO (Integrated Lights-Out)

サーバー内部



サーバー背面



iLO 専用ポート

- ・ 主要HPE サーバーに標準搭載されている「**小型コンピューター**」
- ・ サーバー自身のリソースから**独立した専用ASIC**
- ・ リモート操作はもちろん、サーバーの導入から解析まで、**ライフサイクル全般**をカバー
- ・ **自社開発**にこだわり数多くの特許を取得
- ・ お客様の声を反映し、**管理機能に加え、セキュリティ強化を重視**



Gen11で iLO 6 に進化
お客様にメリットをもたらす、縁の下の力持ち

3. HPE ProLiantサーバーの実績



顧客満足度調査2022-2023、自治体ITシステム満足度調査 2022-2023

PCサーバー部門 1位獲得

満足度調査で1位

PCサーバー部門でHPEが高く評価

HPEは、

日経コンピュータ 2022年9月1日号

「顧客満足度調査 2022-2023」

ならびに

日経BPガバメントテクノロジー 2022年秋号

「自治体ITシステム満足度調査 2022-2023」

のPCサーバー部門で1位を獲得いたしました。



日経コンピュータ 2022年9月1日号

顧客満足度調査
2022-2023

PCサーバー部門 1位獲得



日経BPガバメントテクノロジー 2022年秋号

自治体ITシステム満足度調査
2022-2023

PCサーバー部門 1位獲得

日経コンピュータ 顧客満足度調査 2022-2023

顧客満足度調査 2022-2023は、日経BP「日経コンピュータ」が企画・実施している調査です(協力:日経BP コンサルティング)。企業向けIT関連製品やサービス全25部門におけるITベンダーに関する満足度を、CIO(最高情報責任者)や情報システム部長といった製品・サービス導入の責任者が評価するものです。調査は毎年実施しており、今回が27回目になります。調査は2022年4月4日から5月24日にかけて実施し、762件の有効回答を得ました。

詳細情報は URL: <https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/news/18/13289/> をご覧ください。

自治体ITシステム 満足度調査 2022-2023

「日経BPガバメントテクノロジー 自治体ITシステム満足度調査」は、日経コンピュータ誌が企画・実施した「顧客満足度調査」(対象は民間企業を含む1万1501社・団体の情報システム部門)のうち、官公庁・自治体の計149団体からの回答を集計したものの(調査票発送数は1630団体。調査の実務は日経BPコンサルティングが担当した。官公庁・自治体に限定した回答率は91%。調査期間は2022年4月4日から5月24日まで。郵送法で実施した。

安心を届けたい

お客様に使い続けていただくために

まもなく30周年

今日この瞬間も新たな進化を続けています

HPEは、x86サーバー市場を創造してきた先駆者として、いち早く最新テクノロジーを取り入れながらサーバーの進化を加速させてきました。まもなく30年を迎えるHPEのx86サーバーのチャレンジは、サーバーテクノロジーのイノベーションの歴史であり、マーケットリーダーとしての実績の積み重ねでもあります。

お客様の大きな信頼を礎に、
HPEは今日この瞬間も新たな進化を続けています。

おかげさまでHPEが
日経コンピュータ 2022年9月1日号
「顧客満足度調査 2022-2023」
PCサーバー部門1位獲得



日経コンピュータ 顧客満足度調査 2022-2023

顧客満足度調査 2022-2023は、日経BP「日経コンピュータ」が企画・実施している調査です(協力:日経BPコンサルティング)。企業向けIT関連製品やサービス全25部門におけるITベンダーに関する満足度を、CIO(最高情報責任者)や情報システム部長といった製品・サービス導入の責任者が評価するものです。調査は毎年実施しており、今回が27回目になります。調査は2022年4月4日から5月24日にかけて実施し、762件の有効回答を得ました。

詳細情報は URL: <https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/news/18/13289/> をご覧ください。

No.1

累計出荷台数 (2003年~2021年)

4,320万台

1日あたり6,220台出荷

No.1

累計出荷金額 (2003年~2021年)

2,260億ドル

30兆円 (1ドル134.3円の場合)

Share by Company

出典:「IDC Quarterly Server Tracker 2022Q1」累計出荷台数、累計工場出荷金額は、2003Q1から2021Q4までの期間内の「Product Category」を「x86」で抽出した「Company」の合計値になります(端数は切り捨て)。米国Hewlett Packard EnterpriseとNew H3Cグループは、ジョイントベンチャーを行っています。よって世界市場におけるHPEの実績はHPEとNew H3Cグループの合計を実績値としています。1日あたりは期間内の日数(6,939日)の平均です。



4. HPE ProLiantサーバーのポートフォリオ



HPEが提供するサーバー ポートフォリオ










































汎用x86		Hybrid Cloud	IoT	HCI	ミッションクリティカル	HPC & AI	ビッグデータ/SDS
ラックマウント型サーバー	タワー型サーバー	コンポーザブルインフラ/ブレード型サーバー	IoT/エッジコンピューティング	ハイパーコンバージドインフラストラクチャ	ミッションクリティカルサーバー	ハイパフォーマンスコンピューティング & AI	データストレージプラットフォーム
<p>主要なビジネスのワークロードに対応できる優れたパフォーマンス、耐障害性、および拡張性を備えたラック最適化サーバーにより、データセンターの運用を最適化します。</p>	<p>静音でコンパクトなモデルや性能、拡張性を備えたモデルなどを取りそろえ、中小企業のお客様や拠点のシステム、IoTやエッジコンピューティングといった用途に適した製品を提供します。</p>	<p>ITリソースを自在に「コンポーザブル=組み換え可能に」することで、これらまでの業務アプリケーションに求められてきた安定性と、これからのビジネスに必要な俊敏性を両立できる企業ITを実現します。</p>	<p>エッジにおいて必要となるIoT/5GやビデオデータのAIエッジコンピューティングを可能にし、お客様のリアルタイムの意思決定を支援します。</p>	<p>業界最高レベルのデータ重複排除・圧縮技術を備えたHPE SimpliVityを筆頭に、著名なHCIソフトウェアとの組合せなど、多彩なラインナップでお客様のニーズにお応えします。</p>	<p>今日の常時稼働のニーズに応えるため、ミッションクリティカルに求められる耐障害性を有した、オープンスタンダード環境を提供します。</p>	<p>スーパーコンピューターからAI、深層学習用途まで、高い拡張性と、GPUなどの高性能コンピューティングを実現する、幅広いHPCポートフォリオを提供します。</p>	<p>構造化されていないデータの保存やビッグデータ分析といったストレージ中心のワークロードに最適化されたプラットフォームが、データから有益な情報とビジネス価値を引き出します。</p>
<ul style="list-style-type: none"> - ProLiant DL 	<ul style="list-style-type: none"> - ProLiant ML - ProLiant MicroServer 	<ul style="list-style-type: none"> - Synergy 	<ul style="list-style-type: none"> - Edgeline - ProLiant 	<ul style="list-style-type: none"> - SimpliVity - dHCI - ProLiant DX - VMware vSAN - Microsoft Azure Stack HCI 	<ul style="list-style-type: none"> - Superdome Flex - NonStop - SAP HANA ソリューション 	<ul style="list-style-type: none"> - Apollo System - Cray EX Supercomputers - HPCソフトウェア - ディープラーニング ソリューション 	<ul style="list-style-type: none"> - Alletra 4000 - Apollo 4000

注) 掲載の情報は予告なく変更されることがあります。20230213

HPE サーバー ラインアップ

※製品名が黒: インテルプロセッサ搭載製品
 ※製品名が緑: AMD プロセッサ搭載製品
 ※製品名が紫: ARM プロセッサ搭載製品

コンパクト/タワー型 (ProLiant MLライン)	ラックマウント型 (ProLiant DLライン)	コンポーザブルインフラ (Synergy)	IoT エッジコンピューティング (Edgeline)	ミッションクリティカル (Superdome Flex / NonStop)
<p>ML350 Gen10 ML350 Gen11</p>  <p>ML110 Gen10 ML110 Gen11</p>  <p>ML30 Gen10 Plus</p>  <p>MicroServer Gen10 Plus v2</p> 	<p>DL580 Gen10</p>  <p>DL560 Gen10 DL560 Gen11</p>  <p>DL385 Gen10 Plus v2 DL385 Gen11</p>  <p>DL380 Gen10 DL380 Gen10 Plus DL380 Gen11 DL380a Gen11</p>  <p>DL365 Gen10 Plus DL365 Gen11</p>  <p>DL360 Gen10 DL360 Gen10 Plus DL360 Gen11</p>  <p>DL345 Gen10 Plus DL345 Gen11</p>  <p>DL325 Gen10 Plus v2 DL325 Gen11</p>  <p>DL320 Gen11</p>  <p>DL180 Gen10</p>  <p>DL160 Gen10</p>  <p>DL110 Gen10 Plus</p>  <p>DL20 Gen10 Plus</p> 	<p>SY660 Gen10</p>  <p>SY480 Gen10 SY480 Gen10 Plus SY480 Gen11</p>  <p>クラウドネイティブ (ProLiant RLライン)</p> <p>RL300 Gen11</p> 	<p>EL8000 e920/e920d Server Blade</p>  <p>EL8000t e920t Server Blade</p>  <p>ハイパーコンバージドインストラクチャ (HCI)</p> <p>SimpliVity 380 Gen10 G SimpliVity 380 Gen10 H SFF/LFF</p>  <p>SimpliVity 325 Gen10 Plus v2</p>  <p>dHCI Alletra 6000/5000 dHCI Nimble dHCI</p>  <p>NUTANIX ProLiant DX</p>  <p>VMware vSAN ReadyNode</p>  <p>Microsoft Azure Stack HCI</p> 	<p>Superdome Flex</p>  <p>NonStop</p>  <p>HPC&AIソリューション</p> <p>Cray EX Supercomputers</p>  <p>Apollo 6500 Gen10 Plus XL675d Gen10 Plus XL645d Gen10 Plus</p>  <p>Cray XD2000</p>  <p>Apollo 2000 Gen10 Plus XL225n Gen10 Plus XL220n Gen10 Plus XL290n Gen10 Plus</p>  <p>Apollo 80</p>  <p>データストレージ</p> <p>Alletra 4120 Alletra 4110</p>  <p>Apollo 4510 Gen10</p>  <p>Apollo 4200 Gen10 Plus</p>  <p>Apollo 4200 Gen10</p> 

注)掲載の情報は予告なく変更されることがあります。20230525

“一歩先行くサーバー”

HPE ProLiant Gen11サーバー

Accelerate data-first modernization



直感的

クラウド型の運用管理

安心

セキュリティ・バイ・
デザイン

最適化

ワークロード性能

hpe.com/jp/gen11

HPE GreenLake

あらゆる場所でクラウドのエクスペリエンスを提供

エッジ

コロケーション/データセンター

クラウド

セルフサービス

従量制課金¹

スケールアップ/
ダウン

マネージド
サービス

5. まとめ



まとめ

- **管理のための管理からの解放**

直感的なクラウド型の運用管理により、お客様の運用工数削減に貢献します

- **セキュリティ・バイ・デザインを実装**

進化を続ける機能群により、手間をかけずに安心・安全を提供します

- **国内 顧客満足度調査で第1位**

HPE ProLiantサーバーはまもなく30周年
多くのお客様にご活用・ご満足をいただいております

**お客様のビジネスとIT変革を
HPE ProLiantサーバーが支えます**

Thank you



HPEまるごと情報局 2023年3月開局のお知らせ

欲しい情報がすぐに見つかる!

1 HPE 各種製品・サービスをカバー

2 お客様、パートナー様、どなたも使いやすい

3 日本HPEメンバーで、資料・ページ全監修

hpe.com/jp/index



The screenshot shows the HPE Japan homepage. At the top, there is a navigation bar with the HPE logo and various menu items: HPE GreenLake, DXプラットフォーム, 製品, サービス & サポート, オンラインストア, お問い合わせ, and 企業情報. Below the navigation bar, the main heading is "HPEまるごと情報局". To the right of the heading, there is a short paragraph: "HPEの製品・サービスの最新情報は、こちらでまるごと掲載しています! 各種資料、選定・提案・構成ポイント、便利なツール類など、あらゆる情報の地図としてお使いいただけます。" Below this, there is a sub-heading: "さがせる & わかる HPEまるごと情報局メニュー". At the bottom, there are five large buttons with icons and labels: "サーバー" (Server), "ストレージ" (Storage), "ネットワーク" (Network), "サポート" (Support), and "HPE DirectPlus".

関連リンク集

- [HPEサーバー Webpage](#)
- [HPE DirectPlus オンラインストア](#)
- [プロダクトセレクション\(総合カタログ\)](#)
- [HPEサーバー セキュリティハンドブック](#)
- [HPE全社セキュリティカタログ](#)

